



公益財団法人 日本ハンドボール協会 編
平成29年12月1日発行(毎月1回1日発行) 通巻574号

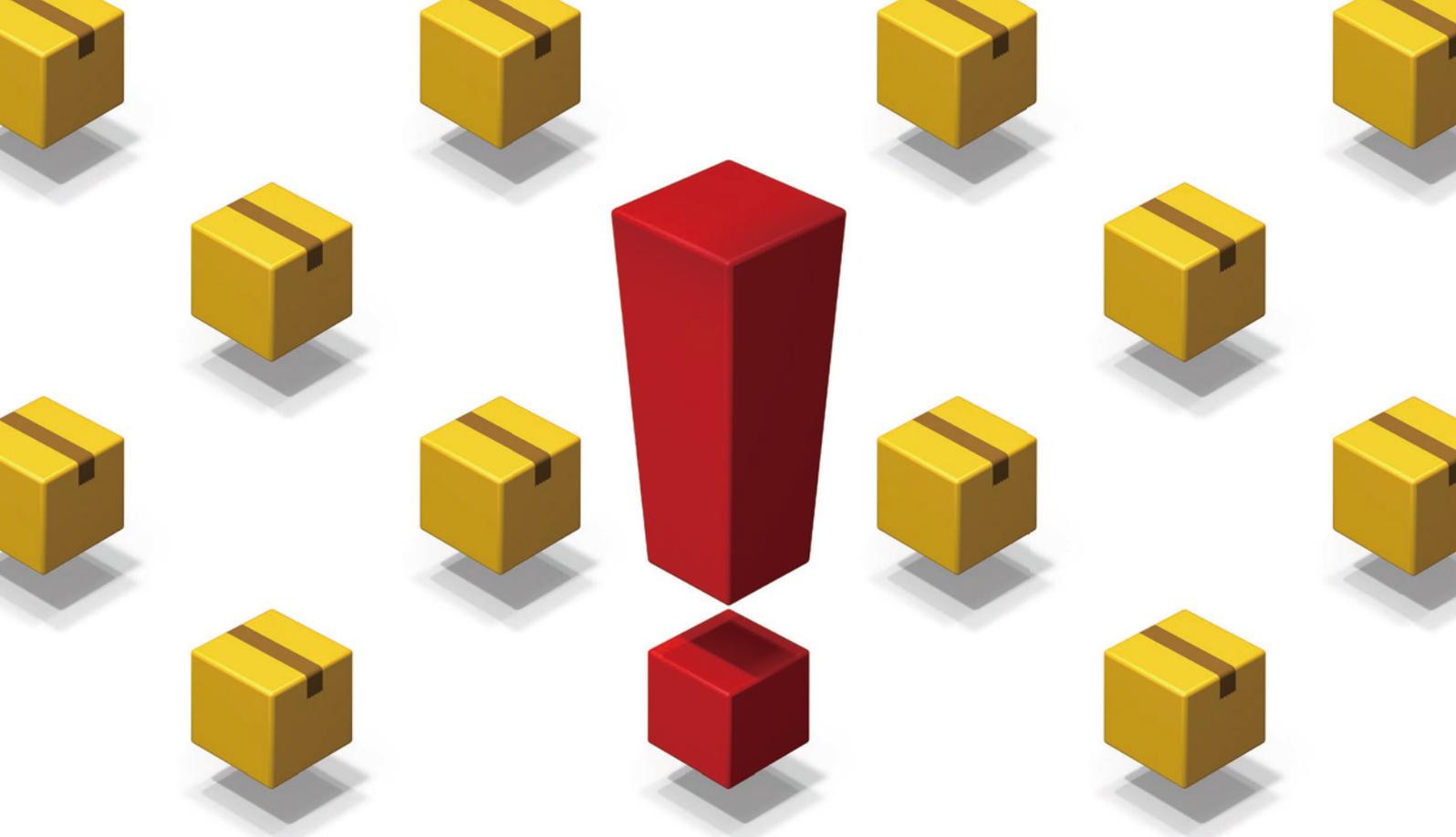
ハンドボール

12

DEC.2017
No.574



- 第72回国民体育大会
- 第21回日韓スポーツ交流



世界が驚く、 物流をつくらう。



東京2020大会を、物流から支えています。



東京2020オフィシャル荷物輸送サービスパートナー



代表取締役 青木 理恵



販売から賃貸管理までトータルサポート



私たち株式会社ユリカコーポレーションは、お客様方へ不動産を用いたライフプランをご提案しております。自社ブランドである『YURIKA ROSE』（ユリカ ロゼ）シリーズも順調に分譲中です！

2020年の東京オリンピックに向け、ハンドボール選手と共にこれからも邁進していきますので、どうぞよろしくお願い致します。

私達、株式会社ユリカコーポレーションは女子ハンドボールを応援しています!!

<http://yurika-co.jp/>

株式会社ユリカコーポレーション

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-6-2 神田セントラルプラザ1202

TEL : 03-3525-8986 / FAX : 03-5295-8188



5年連続、5つ星。

みなさまの日頃のご搭乗に、心より感謝申し上げます。
わたしたちは日本で唯一の5スター エアラインです。

おかげさまでANAは、2017年も英国のエアライン格付機関SKYTRAX社が主宰する
エアライン・スターランキングで世界最高評価「5 STAR」を獲得いたしました。お客さまへの
感謝の気持ちと日本で唯一の5スター エアラインとしての誇りを翼に乗せて、これからも
みなさまを快適な空の旅にご案内いたします。

ANA | Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER 

www.ana.co.jp



※2017年3月現在



【表紙の写真】第72回国民体育大会少年男子優勝の神奈川県（写真提供：スポーツイベント社）

CONTENTS

- 06 平成29年度 理事および役員が決定
- 07 **第72回国民体育大会**
大会をふり返って——愛媛県協会理事長・東福康浩
- 08 成年男子優勝：埼玉県——監督・岩本真典
- 09 成年女子優勝：石川県——主将・塩田沙代
- 10 少年男子優勝：神奈川県——監督・阿部直人
- 11 少年女子優勝：愛知県——監督・浅野清隆
- 12 戦評
- 15 **第21回日韓スポーツ交流**
総評——U16男女団長・尾石智洋
男子報告：U16男子監督・小浪津周史、キャプテン・伊禮雅太
女子報告：U16女子監督・麻生 薫、キャプテン・柿添まどか
- 23 【連載：「運動部活動の教育学」への誘い】
「部活動は道德教育の場である！」と考える、あなたへ——宮城教育大学・神谷 拓
- 25 【連載：食育を考える・ジュニア期の食事の在り方】
自分のからだを、自分でつくる！
食事量の調整方法を習得しよう。——筑波大学体育系、管理栄養士・麻見直美
- 28 【スコアールーム】 第72回国民体育大会

がんばれハンドボール 20万人会「サポート会員」10月入会・継続会員

【宮城】福田 伸 【埼玉】 齋藤忠男、齋藤ゆかり、小澤隆志、小澤智子 【東京】 東尾吉信、寺嶋 潔、荒川晶夫、荒川留美 【神奈川】 種村明彦 【静岡】 細澤 覚 【愛知】 城山秀美、中島 猛、山田美佐子 【三重】 橋本行弘、橋本由紀子 【大阪】 伊藤慎吾、中塚富佐子、泉 邦周 【広島】 塩屋正子、田中友紀

次号1月号 (No.575) は1月1日発行予定です。

**2018年1月18日から開催の
第18回男子アジア選手権(2019年・第25回男子世界選手権予選を兼ねる)
に出場の全日本男子チームへの応援メッセージを募集**
【12月8日一部訂正】

募集期間は、12月8日(金)～18日(月)までです。
戴いたメッセージは、1月号機関誌でHP上に掲載予定です。

氏名・男女・匿名希望か否か・メッセージ(100文字まで)を記載し

送付先アドレス：kikanshi@japan-handball.jp

機関誌；応援メッセージ募集係御中

迄、送付下さい。

応募戴いた方の中から抽選で若干名の方に、サイン入りTシャツを贈呈します。

平成29年度 理事および役員が決定

平成 29 年 10 月 28 日新理事によって理事会が開催されました。役員が互選によって選出され、理事の職務分掌が決まりました。

役職	氏名	よみがな	職務分掌	常勤／非常勤	生年	新重
会長	湧永 寛仁	わくなが かんじ	全般	非常勤	1973	新任
副会長	福地 和彦	ふくち かずひこ	全般	非常勤	1954	新任
副会長	吉田 實	よしだ みのる	全般	非常勤	1952	新任
専務理事	田口 隆	たぐち たかし	兼 強化	常勤	1961	重任
常務理事	工藤 雄三	くどう ゆうそう	総務、全日本社会人連盟	非常勤	1961	重任
常務理事	米原 暢男	よねはら のぶお	マーケティング、広報	非常勤	1952	新任
常務理事	三輪 一義	みわ かずよし	普及指導	非常勤	1965	重任
常務理事	高野 修	たかの おさむ	競技	非常勤	1963	新任
常務理事	西窪 勝広	にしくぼ かつひろ	2019 女子世界選手権	非常勤	1954	重任
常務理事	村林 裕	むらばやし ゆたか	日本リーグ	非常勤	1953	重任
常務理事	大橋 則一	おおはし のりかず	事業	非常勤	1967	重任
常務理事	栗山 雅倫	くりやま まさみち	特命、国際	非常勤	1971	重任
理事	福島 亮一	ふくしま りょういち	競技、審判	非常勤	1971	新任
理事	Nemes Roland Janos	ねめしゅ ろーらんど やのしゅ	国際	非常勤	1975	新任
理事	稲福 貴史	いなふく たかふみ	2020 東京オリパラプロジェクト	非常勤	1987	新任
理事	河上 千秋	かわかみ ちあき	女性委員会	常勤	1963	新任
理事	松井 幸嗣	まつい こうじ	全日本学生連盟	非常勤	1957	重任
理事	北中 弘規	きたなか ひろき	全国高体連専門部	非常勤	1961	新任
理事	小越 康雄	こごし やすお	北海道ブロック	非常勤	1952	重任
理事	岡市 武	おかいち たけし	東北ブロック	非常勤	1958	新任
理事	中野 利一	なかの としかず	関東ブロック、20 万人会	非常勤	1950	重任
理事	行田 潤	ぎょうだ じゅん	北信越ブロック	非常勤	1958	重任
理事	丸山 竜司	まるやま りゅうじ	東海ブロック	非常勤	1964	重任
理事	佐路 清隆	さじ きよたか	近畿ブロック	非常勤	1961	新任
理事	山本 一	やまもと はじめ	中国ブロック	非常勤	1948	重任
理事	佐藤 公美	さとう きみよし	四国ブロック	非常勤	1954	重任
理事	児玉 浩三郎	こだま こうざぶろう	九州ブロック	非常勤	1966	新任
監事	江成 元伸	えなり もとのぶ		非常勤	1950	新任
監事	東海林 祐子	とうかいりん ゆうこ		非常勤	1968	新任
監事	松本 隆栄	まつもと たかえ		非常勤	1954	新任

 OSAKI



mind

豊かな明日を切り開く、大崎マインド。

限られた資源だから、有意義に使っていききたい。

命あるものたちが共存する地球だから、

快適な環境を守っていききたい。

計測・制御の専門メーカーとして時代をリードする大崎は、

ユニークな発想と探究心で省エネ、省力化機器など、

つねに技術革新をこころがけています。

大崎電気工業株式会社

本社 〒141-8646 東京都品川区東五反田2-10-2 東五反田スクエア TEL.(03)3443-7171(代表)



第72回国民体育大会

開催期間 2017年10月5日～10月9日

開催地 愛媛県・西条市、松山市

最終順位

種別	優勝	第2位	第3位	第4位
成年男子	埼玉県	愛知県	宮城県	佐賀県
成年女子	石川県	熊本県	広島県	鹿児島県
少年男子	神奈川県	千葉県	福井県	香川県
少年女子	愛知県	沖縄県	富山県	岩手県

大会を振り返って

「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」のローグのもと、第72回国民体育大会「愛顔つなぐえひめ国体」は、9月30日に総合開会式を行いその幕が上がりました。愛媛県で国体が開催されますのは、昭和28年に四国4県で共同開催されて以来実に64年ぶりということで、非常に感慨深いものとなりました。

ハンドボール競技会は10月4日に開始式および諸会議を行い、翌10月5日から5日間、松山市の松山市総合コミュニティセンター体育館、北条スポーツセンター体育館、西条市の西条市総合体育館、ビバ・スポルティア SAIJOの4会場5コートで開催され、無事に大会を終了しましたことをまずご報告いたします。

会場が4つに分散されたことで、多くの大会役員の皆様、とくに審判、TDの皆様には移動等においてご迷惑をおかけしました。この場をお借りしまして改めてお詫びいたします。その上、大会会場の一つであり10月4日の諸会議および開始式も行われた松山市総合コミュニティセンターは、10月3日までなぎなた競技の会場となっておりました。そのため、なぎなた競技終了直後からハンドボール競技の準備を始めなくてはなりません。また、西条市のビバ・スポルティア SAIJOは人工芝の屋内運動場ですが、この大会のために仮設の床を敷き、その上にスポーツコートを敷き詰めました。昨年リハーサル大会（第21回ジャパンオープントーナメント）を実施していたとはいえ、果たして大丈夫だろうか、という不安も抱いていました。しかしながら、どちらの会場におきましても松山・西条両市の実行委員会および競技役員、補助員の皆様のご努力により、競技が予定通りに実施できました。このことに心から感謝いたします。

5日間にわたる熱戦の結果、少年男子は春の高校選抜およびインターハイを制した法政大学第二高校を母体とする

愛媛県ハンドボール協会理事長 東福 康浩

神奈川県が優勝し、昨年の山口県岩国工業高校に続き全国大会3冠の偉業を達成されました。少年女子もやはり選抜、インターハイを制した佼成学園女子高校を母体とする東京都に注目が集まりましたが、その東京都を破った沖縄県と愛知県との決勝戦となり、愛知県が優勝しました。成年男子決勝は大崎電機の埼玉県対トヨタ車体の愛知県という昨年と同じ顔合わせとなりましたが、今年は埼玉県が雪辱を果たし優勝しました。成年女子決勝も昨年と同じ顔合わせとなりましたが、北國銀行の石川県がオムロンの熊本県を破り大会5連覇を達成しました。優勝されました各チームに心から敬意を表しますと同時に、惜しくも優勝は逃したものの、連日手に汗握る白熱した試合を繰り広げてくださったすべてのチームに感謝を申し上げます。

本県勢は、成年男女ともにJHLを母体とするチームに敗れたものの、地元の大応援を背に最後まであきらめることなく健闘しました。また少年男子は2点差で、少年女子は1点差で惜しくも初戦敗退しましたが、最後の最後まで勝敗の行方の分からない緊迫した試合を展開しました。こうした好試合の連続は、会場に足を運んでくださった多くの観客にハンドボールの魅力を余すところなく伝えたのではないかと存じます。本大会の盛り上がり、今後の本県のハンドボール競技の更なる普及・発展につながることを切に願う次第であります。

最後になりましたが、本大会の開催にあたりご尽力を賜りました公益財団法人日本ハンドボール協会、四国ハンドボール協会、松山・西条両市の実行委員会並びに市職員、ボランティアスタッフ、競技役員、競技補助員の皆様に改めて御礼申し上げます。本当にありがとうございました。そして、来年開催されます第73回国民体育大会「2018福井しあわせ元気国体」の成功を祈念申し上げ、結びいたします。

成年男子優勝 ▶ 埼玉県

大崎電気ハンドボール部監督 岩本 真典

この度、第72回国民体育大会「愛顔つなぐ愛媛国体」成年男子の部において、私たち大崎電気は埼玉県代表として2年振り22回目の優勝を果たすことが出来ました。これも一重に日頃から大崎電気ハンドボール部を支えてくださっている渡邊オーナーをはじめ社員の皆様、そして埼玉県体育協会、埼玉県ハンドボール協会関係者の方々のご支援、ご声援あってこそその結果だと思っております。また大会開催にあたりご尽力いただいた愛媛県ハンドボール協会をはじめ日本ハンドボール協会、地元愛媛県西条市のボランティアの皆様、成年男子会場の西条市実行委員会、ならびに関係各位の皆様へ改めて、心より厚く御礼申し上げます。そして何より、昨年の岩手国体で5連覇の目標が敗れた悔しさをバネに日々のトレーニングを行ってきた選手の努力の賜物だと思っております。

国民体育大会は12名の大会及びベンチ登録のみ。(国体以外は16名ベンチ登録)大会が始まれば怪我をしても選手の入れ替えが出来ないという苦しい中、決勝戦までの4試合、試合に出場している選手は勿論、登録を外れた選手もチームの為に最善を尽くし、21名の選手が役割を果たしてくれたことに感謝しております。

選手には日頃からFor THE TEAM! THINKING HANDBALL!というチームスローガンの基、指導しております。今大会のスローガン「君は風 いしづちを駆け 瀬戸に舞え」にもあるように、チーム全員が目標に向かって愛媛を駆け抜ける風のように優勝に舞い輝くことができました。

今大会は埼玉県代表としての優勝でしたが、大崎電気としては今シーズン、スケジュール的にチームトレーニングが少ない中での結果であり、次のタイトルに向けこの優勝をスタートに継続して優勝できるよう、これまで以上の努力を重ねてこれからも大会ごとに成長し、国内で継続して勝てるチーム、そして世界に通用するチームを目指して日々、精進していきます。

今後ともご支援、ご指導、ご鞭撻の程、宜しくお願い申し上げます。



あなたの元気を未来につなぐ
Wakunaga

**元気、やる気、
笑顔、湧く。**



キョーレオピン
KYOLEOPIN
LIQUID

◀販売名▶
キョーレオピンW

**滋養強壯
虚弱体質**

第3類医薬品



レオピン
ファイブ

◀販売名▶
レオピンファイブW





湧永製薬株式会社
http://www.wakunaga.co.jp/

お取扱店のお問い合わせ **0120-39-0971**
(通話料無料) 受付時間 9:00~12:00・13:00~17:00 (土日祝日を除く)

成年女子優勝 ▶ 石川県

北國銀行ハンドボール部主将 塩田 沙代

はじめに第72回国民体育大会開催にあたり、愛媛県国民体育大会実行委員会及び日本ハンドボール協会、和歌山県ハンドボール協会の関係者各位の皆様方に心より感謝申し上げます。

今大会において、5年連続10回目の優勝をすることができました。これもひとえに日頃よりご支援・ご声援をいただいております石川県ハンドボール協会ならびにサポーターの皆様方、家族の皆様方、そしてチーム強化に強力なバックアップをさせていただいております、安宅頭取をはじめとします、役員・行員の皆様方のおかげだと思っております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

試合では、私たちの持ち味であるDFから速攻でリズムを掴んで試合を展開していけるよう話し合い、今大会にのぞみました。初戦、2戦目は、コートに立ったメンバーがお互いに声を掛け合いながら自分たちらしく戦い、準決勝まで勝ち進むことができました。準決勝では、序盤は自分たちらしくDFから速攻で得点を重ねリードを広げることができましたが、中盤以降、自分たちのミスから失点する場面や、逆に相手に勢いを与えて失点する場面が多くなり、試合には勝つことができましたが、課題が多く残る試合となりました。

準決勝での反省を踏まえて、コートに立った選手がしっかり個々の役割を果たそうと約束してのぞんだ決勝戦では、出だしからDFでリズムをつかみ、速攻で全員が走り、またOFでは1人1人が積極的にシュートを狙い、得点を重ねて60分間戦うことができました。そして、33対16で勝利することができました。

今大会を通して、まだまだ試合の中で好不調の波があったり、個々の弱さがあったりと課題もたくさんあります。この結果に満足することなく、このあと続く、日本選手権、日本リーグに向けて気を引き締めて戦っていきたいと思います。そして、応援して下さいの皆様方に恩返しができるように頑張りたいと思います。北國銀行をはじめ、協会、サポーターの皆様方にはこれまでと変わらぬご支援・ご声援を宜しくお願い致します。



あたらしい場所。
あなたらしい時間。



毎日、行きたくなる。わざわざ行きたくなる。

LECT

LECT 検索 または lect.izumi.jp

[LECT] 広島市西区扇二丁目1番45号

株式会社 **イズミ** <http://www.izumi.co.jp>
本社/〒732-8555 広島市東区二葉の里三丁目3番1号 TEL(082)264-3211(代)

少年男子優勝 ▶ 神奈川県

神奈川県少年男子監督 阿部 直人

このたび、愛媛県で開催されました第72回国民体育大会愛媛つなぐえひめ国体において、11年ぶり4度目の優勝を果たし、この優勝をもって法政二高は春夏に続き「三冠」を達成することができました。

振り返ってみると「三冠」を達成することができた要因は様々あります。選手が三年前に法政二高に進学を決意してくれたこと、三年間の努力、保護者の理解・協力、OB・OB保護者の支え、学校の支援・理解、スタッフのサポート。これらのどれ一つ欠けてもこの結果を得ることができなかつたと、そして考えれば考えるほど「ありがたいこと、感謝すること」ばかりでした。

今年のチームづくり、指導においては、「選手の長所を伸ばす」ことを徹底しました。個々の得意なことをとことんまで突き詰め、試合において発揮させる。そのために苦手なことにおいて失敗をしても、手を抜いた結果でないのであれば怒らず、正しい表現で指導する。そして日々、高いモチベーションを持たせ練習・トレーニングに取り組みせました。選手たちは十二分に理解し、そして厳しさと楽しさを融合した理想的な状態で大会に臨むことができました。その状態を継続し、「目の前の一戦に勝つ」ことに集中し、その積み重ねで国体の決勝戦10月8日をむかえ勝利することができました。「三冠」を達成することができ、たいへん嬉しく思っていますが、今後もこの結果に満足することなく、さらに成長していくことができるよう努力・挑戦していく所存であります。

最後になりましたが、日本ハンドボール協会、愛媛県ハンドボール協会、また大会の準備、運営等に携わっていただいたすべての皆様に心より感謝申し上げます。



写真提供：スポーツイベント社

●イベント

- ・表彰
- ・記念式典
- ・各種セミナー
- ・各種パーティー
- ・国際会議

●業務渡航

- ・海外航空券手配
- ・海外ホテル手配
- ・査証手続き
- ・トラベルサポート

●教育・研修旅行

- ・修学旅行
- ・語学研修
- ・ホームステイ
- ・各種体験学習
- ・ゼミ・各種合宿

●団体旅行

- ・社員旅行
- ・インセンティブ旅行
- ・視察旅行・研修旅行・海外スポーツ遠征
- ・国内スポーツ合宿
- ・貸切バス・周年旅行

●訪日外国人旅行

- ・公官庁主催招聘プログラム手配
- ・訪日されるお客様に合わせたプラン

AMOK
Enterprise co.,ltd.

株式会社 エモック・エンタープライズ
観光庁長官登録旅行業第1144号 (一社) 日本旅行業協会 (JATA) 正会員

●東京本社

〒105-0003 東京都港区西新橋 1-19-3 第2双葉ビル2F3F TEL 03-3507-9777 FAX 03-3507-9771

●大阪支店

〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-8 タイリンビル7F TEL 06-6203-7999 FAX 06-6203-7991

<http://amok.co.jp/>

少年女子優勝 ▶ 愛知県

愛知県少年女子監督 浅野 清隆

はじめに、第72回愛顔つなぐえひめ国体の開催にあたり、ご尽力賜りました日本ハンドボール協会並びに愛媛県ハンドボール協会、運営に携わって下さいました全ての関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

この度、第72回国民体育大会において、3年ぶりの優勝をすることができました。これも偏に日頃からご支援・ご協力いただいております愛知県ハンドボール協会並びに高校関係者の皆様、小中学校の頃に選手たちを熱心に指導して下さいました指導者の皆様、多大なご協力と応援をして下さった保護者の皆様等、本当にたくさんの皆様のおかげであります。

さて、今大会は名経大市邨高校から7名・大同大同高校から4名・愛知商業高校から1名のメンバーで臨みました。名経大市邨高校は選抜大会では茨城県の水海道第二高校に延長戦で敗れ、リベンジを誓って臨んだインターハイも準々決勝で山口県の高水高校に敗れていたため、今度こそ日本一をとという強い気持ちを持って準備をしました。

初戦となる2回戦の宮城県に勝ち、次はインターハイで負けている高水高校を中心とする山口県でした。愛知県の選手の中には中学時代、全中・JOCでまた小学校時代も全小で山口県に負けていた者もいたため、私の中ではこの試合が一番の山だと考えていました。試合の方は特に力を入れたディフェンスが機能し失点を抑え22対17で勝つことができました。準決勝は富山県でしたが、思っていた以上に速攻が速かったこと、前日に一番の山と言ってきた試合に勝ち心に隙があったこともあり、立ち上がり6点のビハインドから始まりました。タイムアウトを取り、とにかく焦らずに自分たちのやるべきことをやろうと確認しました。その後は落ち着きを取り戻し前半のうちに1点差まで追い上げることができました。後半もシーソーゲームでどちらが勝ってもおかしくないゲームでしたが、同点で迎えた残り15秒でタイムアウトを取り、やることを確認し残り3秒で伊藤がシュートを決め勝つことができました。決勝は沖縄県で想定通りダブルマンツォを仕掛けてきました。後半2点差に迫られることはありましたが、焦らず常にリードする展開で試合を進め、勝利することができました。

今回は少年女子優勝に加え、天皇杯・皇后杯も獲得することができ、全国で一番のチーム数である王国愛知を示すことができ、とても嬉しく思います。また、自分以外のスタッフの3人は皆20代で若いメンバーでしたが、相手の分析、GKのコーチング、連夜のモチベーションビデオ作成、ウォーミングアップやケア等それぞれが役割以上のことをして頑張ってくれ、そのことが大きく優勝に貢献したと思います。そのスタッフも含め、多大な応援をして下さった保護者、一丸となって努力を重ねた選手に感謝したいと思います。本当にありがとうございました。



写真提供：スポーツイベント社

戦評

成年男子 3位決定戦 宮城県 29(16-13、13-14)27 佐賀県

1分宮城山田のミドルシュートがネットを揺らす。3分にもその山田がロングシュートを決め、2点をリードする。しかし、佐賀も4分津山のミドルシュートが決まると、直後堤のカットインですぐさま同点に追いつく。5分を過ぎた辺りから宮城がじわじわと主導権を握り始める。宮城は相手の変則ディフェンスにも動じることなく、桑名のサイドシュートを中心に得点を重ね、15分の時点で10対5とリードする。佐賀は流れを変えようとチームタイムアウトを取るも、宮城の力強いオフェンスを止めることができない。しかし、前半終了間際、佐賀もリズムに乗り始め、一時は7点あった点差を3点まで詰め、前半を16対13

宮城リードで折り返す。

後半は宮城吉田のサイドシュート、速攻、桑名の速攻で3連取し、再び佐賀との差を広げる。佐賀も果敢にゴールに迫るが、宮城GK関口が立ちはだかり得点を許さない。その間も宮城は攻撃の手を緩めることなく10点差をつけ、16分佐賀がたまたまチームタイムアウトを取る。するとここで流れが変わり始める。佐賀は荒川のミドルシュート、中本のカットインなどで一気に4点差まで縮める。28分宮城に2分間退場者がでると、佐賀は一気に畳み掛ける。しかし反撃もむなしく、試合終了。29対27で宮城が3位に輝いた。

成年男子 決勝 埼玉県 34(11-12、23-12)24 愛知県

開始早々愛知が素早いパスワークから藤本のサイドシュートで先制点を挙げ、さらに津山、木切倉、藤本の得点で一挙4点を奪う。対する埼玉はミドルシュートを軸に、柴山、小澤、信太が得点を決め追いつがるも、愛知が順調に得点を重ね、埼玉が4点差を追いかける試合展開となる。試合が動いたのは前半18分、埼玉信太の2連取を皮切りに、宮崎、小澤がシュートを決め同点とし、柴山のサイドシュートで逆転に成功する。しかし終盤に愛知吉野が3連取し再度逆転、12対11愛知リードで前半を折り返した。

後半は追いつきたい埼玉のスローオフで始まった。開始

早々埼玉信太がカットインを決め同点とする。後半5分からお互いの攻撃がつながり、激しい展開となるも、徐々に埼玉の得点チャンスが増え、植垣の華麗なスカイシュートを含めた4連取で5点差に突き放す。反撃を狙う愛知はチームタイムアウト後、展開の速い攻めで得点を奪うも、埼玉の安定した攻めの前に得点を許し、差を詰めることができない。終盤愛知が攻めのディフェンスを見せるも、埼玉が信太の本日10点目の得点を含む、オフェンスで大きく差を広げ、34対24で埼玉が2年ぶりの国体優勝を遂げた。

成年女子 3位決定戦 広島県 30(13-13、17-14)27 鹿児島県

鹿児島県のスローオフで、3位決定戦が始まった。1分39秒、鹿児島は、広島堀川の退場でチャンスを掴み、得点する。一方、広島は、アグレッシブなディフェンスから、スピーディーなゲームメイクで得点する。12分、広島は、真継の速攻が決まり、7対7の同点とする。このタイミングで鹿児島は、チームタイムアウトを取る。その後、両チームとも、多彩なゲームメイクで、互角のゲーム展開を繰り返す。20分過ぎ、鹿児島は、川村のミドルシュートで、広島を引き離しにかかるが、広島も、石川のサイドシュートで食らいついた。前半を、13対13と同点で終了した。

後半に入り、追加点が欲しい両チームは、チームの特性を生かしたゲームメイクをする。一進一退の状況が、10分過ぎまで続く。11分過ぎ、鹿児島は、堀川の7mTで得点する。広島は、スピーディーなゲームメイクを展開するが、思うように得点が取れない。19分過ぎ、広島は、角屋のポストシュートで、22対22と同点とした。試合時間は、ラスト5分となったが、同点の状況が続く。ラスト3分広島は、角屋のポストシュートで得点する。その後、高山のロングシュートなどで得点を重ね、30対27で、3位に輝いた。

成年女子 決勝 石川県 33(19-8、14-8)16 熊本県

前半は石川のスローオフで始まった。3分石川横嶋が得点すると、すぐさま熊本も石井がカットインで反撃する。しかし、石川も横嶋のロングシュートを始め、角南の2連続カットインの3連取で熊本を突き放しにかかる。流れを変えたい熊本は7分にチームタイムアウトを取るも、オフェンスでいい流れを作ることができず、逆に失点をしてしまう。

それでも10分松尾のカットインで何とか追い上げを試みる。対する石川はBP3人のフェイントが冴え、着実に点を重ねていき15分時点で4点のリードをつける。一進一退の攻防が続くが、キレのあるフェイントでオフェンスのリズムを作り出した石川が14対8の6点リードで前半戦を終えた。

戦評

後半に入り、石川は角南のカットイン、永田の速攻で更にリードを広げる。熊本も東濱のミドルシュート、勝連の速攻などで応戦するが、なかなか点差が縮まらない。7分熊本がチームタイムアウトを取った時点でスコアは21対12であった。余裕のできた石川は、時間をかけてオフェンスを展開し始める。ここでも勢いは止まることなく大山、

横嶋を中心に連携して得点を重ねる。熊本はPVの福井を投入し、巻き返しを図るが、石川の堅いディフェンスを前に本来の力を発揮することができない。後半も石川の猛攻は止まることなく、結果33対16の大量得点差をつけて石川が見事5連覇を果たした。

少年男子 3位決定戦 福井県 29(15-10、14-9)19 香川県

3位決定戦は、福井のスローオフで始まった。立ち上がりにはまずリズムをつかんだのは福井。吉田のポストシュートを皮切りに中村翼、治田、中村仁が連続得点を決め、開始5分で4対0とした。対する香川はチャンスは作るものの、ノーマークシュートを福井のGK 笹本にことごとくシャットアウトされなかなか得点できない。そうした中でも香川はGK 井原を中心に粘り強く試合をつくり、5分46秒ようやく岡田のミドルシュートで1点返すと、その後も奥村と鈴木の連続得点で12分には4対5の1点差に迫った。さらに香川はチャンスを量産し、ここで一気に追いつきたいところだったが、そこにまたもや福井のGK 笹本が立ちはだかった。香川の放つノーマークシュートを立て続けにシャットアウトし、連続得点を許さない。逆に福井は中村翼のミドルシュートから治田のサイドシュート、さらには木村、前田も得点を挙げ、着実に試合を支

配していく。香川も岡田、小田、鈴木がしぶとくシュートをねじ込むが単発に終わり、結局15対10と福井の5点リードで前半を終了した。

ここまでチャンスは作るもののなかなかリズムに乗れない香川だったが、後半開始のファーストプレイで鈴木が豪快なスカイプレーを決め、大きく流れを引き寄せることに成功する。その後も小田、岡田が立て続けに得点を決め3連取。一気にリズムに乗った。2点差につめられたところで福井はたまたまタイムアウトを要求。再開後落ち着きを取り戻した福井は谷口、前田、中村仁らの連続得点で再び流れを引き戻し、14分には22対16とここまで最大の6点差とした。香川も川村、谷らが粘って得点するものの福井の守護神笹本の壁が厚く波に乗れない。結局その後も西田、前田らが足を止めず主導権を握り続けた福井が29対19で勝利した。

少年男子 決勝 神奈川県 38(18-10、20-16)26 千葉県

神奈川のスローオフ、静かな立ち上がり、試合が動き始めたのは1分過ぎの神奈川加藤のシュートから。続いて藤田と2連取。千葉も澤の速攻で反撃。しかし、千葉に退場者が出たことをきっかけに藤田、大畠と立て続けに速攻が決まり、5対1と神奈川がリードを広げる。ここで神奈川に退場者が続き、澤の2得点や中沢の7mTと1点差に迫るが、神奈川はここで怒涛の5連取と千葉を引き離しかかる。たまたま千葉がタイムアウト、選手らに打開策を授け、千葉松本のポストシュートで反撃開始かと思われた。しかし神奈川西がミドルシュートを決め、神奈川GK 高橋

も再三の好セーブで千葉の反撃の芽をつんだ。ここで千葉に退場者が続き、22分過ぎに14対6と大きく神奈川がリードした。しかし、ここで千葉高橋が奮起し気合の3連取、5点差に迫った。ペースは千葉に傾きかけたが、神奈川は内田、藤田、加藤、西が気迫のこもったシュートをねじ込み、前半を18対10と神奈川リードで終えた。

後半開始、千葉のスローオフ、すさまじい勢いで神奈川ゴールに迫るが、それをはねのけ神奈川藤田が2連取。さらに勢いが増す。ここで千葉GK 藤田が連続セーブ。神奈川からペースを奪い取る。流れが千葉に傾きかけたが、神



写真提供：スポーツイベント社

戦評

奈川は出足の鋭いディフェンスで再び流れを呼び込んだ。神奈川西のポストシュートに始まり、加藤の3得点そして白築の速攻と、さらにリードを広げた。千葉は島村や高

橋、原、澤らの巧みな個人技で粘るが及ばず、逆に神奈川の強固なディフェンスから西、加藤らが次々と得点を重ね、38対26で神奈川が優勝を勝ち取った。

少年女子 3位決定戦 富山県 42(23-9、19-20)29 岩手県

富山のスローオフで始まり、そのまま坂下のサイドシュートで先取点をあげた。対する岩手も中村や谷藤がシュートを狙うも枠を捉えきれず得点できないがGK千葉も好セーブ見せ、失点を許さない。5分間近く点が動かないなか、岩手中村がディフェンスともつれながらも力強いシュートで1点目をあげる。その後はお互い点を取り合うが中村のミドルシュートなどで連取する富山に対し、岩手はGK千葉が速攻を連続で好セーブし、大窪のポストシュートや中村の速攻で得点するも単発に終わってしまう。じりじりと富山が引き離し7対3と富山リードの前半11分、岩手はタイムアウトを取りすぐに中村のミドルシュートで取り返すが、そこから富山の怒涛の攻撃が始まる。長谷川のカットインでの得点から始まり、高木の出足の早い速攻や中村のカットイン、作田の速攻などで9連取する。16対5と11点差ついた前半23分、岩手はGKを下げCP7人で攻

撃するもミスから富山GK金山に、キーパーシュートを決められるなどし点差を広げられ、23対9と富山リードで前半を折り返した。

後半開始後もなかなか点差は縮まらない。岩手は新沼のサイドシュートや吉田のカットインで追い上げるが富山も小島のポストシュートや長谷川のパスカットからの速攻などで追撃を許さない。後半14分から、岩手は谷藤と中村のカットイン、吉田の華麗なステップシュートや新沼のサイドシュートで4連取するが、富山も西田の速攻などでさらに加点する。その後も岩手は谷藤のミドルシュートや大窪のポストシュート、中村のミドルシュートなどで奮起したが、高岡大仏を想像させるような富山の堅いディフェンスを最後まで崩しきれなかった。後半、岩手は20対19と互角の戦いを見せたが前半に開けられた点差が大きく、最後は42対29で富山が危なげなく逃げ切った。

少年女子 決勝 愛知県 25(13-9、12-11)20 沖縄県

一瞬の静寂、ホイッスルが響く、スローオフ、熱い戦いが始まった。愛知高木のミドルシュートで先制、沖縄新里が打ち返し同点。ここで沖縄GK下地、愛知GK神谷が相手のシュートを再三はじき出し、4分に愛知水谷がサイドシュートをねじ込んだだけでこう着状態が続く。試合が動き始めたのは11分過ぎ、愛知山田のカットインから。続いて伊藤愛のミドルシュート、江本の速攻で突き放しにかかる。沖縄は新里がミドルシュート、宮里のサイドシュートや儀間のポストシュートで迫るが、愛知上田のミドルシュートが立て続けに決まり18分過ぎまで9対6と愛知がリードする。沖縄は、ディフェンス隊形を変え、愛知に圧力をかける。しかし、愛知はあわてず山田、江本、上田と3連取。6点差にリードを広げる。しかし、沖縄も東江、

宮里、屋田の得点で粘り、13対9と愛知リードで前半を終えた。

勝負を決する後半、愛知のスローオフ、愛知江本、上田の連続得点でリードを広げる。しかし、沖縄は上江洲、新里、屋田、再び上江洲と怒涛の4連取で2点差に迫る。さらに点差を縮めたい沖縄だが、愛知GK神谷が好セーブを連発、ここから愛知が5連取と沖縄にペースを渡さない。愛知に退場者が出たことをきっかけに沖縄ペースになりかけたが、愛知上田、伊藤愛の強烈なミドルシュートが炸裂。東江のミドルシュートやカットイン、伊波のミドルシュートなどで追いつがる沖縄を、最後は愛知高木のミドルシュートで突き放し、25対20で愛知が沖縄を振り切り、3年ぶりに栄冠を勝ち取った。



写真提供：スポーツイベント社

第21回日韓スポーツ交流

男子

【派遣】	開催期間	2017年9月11日～9月16日
	開催地	韓国・済州（チェジュ）島
【受入】	開催期間	2017年10月10日～10月16日
	開催地	日本・沖縄県／八重瀬町東風平体育館・浦添市民体育館

女子

【派遣】	開催期間	2017年9月4日～9月9日
	開催地	韓国・済州（チェジュ）島
【受入】	開催期間	2017年10月18日～10月23日
	開催地	日本・佐賀県／トヨタ紡織九州クレインアリーナ

U16男女団長 尾石 智洋

日本ハンドボール界のジュニア期での育成環境を世界基準に上げるべく、U16の取り組みは変革部の中心となります。今回の大きな変革点は、NTSやNTA（ナショナルトレーニングアカデミー）との連携により、幅広く育成選手の選考を行い、アカデミー生を編成しました。そのアカデミー生により育成合宿を行い、さらに選考しU16日本代表を結成しました。活動中の入れ換えもはかり、土台の拡大及び競争心を高める活動としました。この日韓戦後も育成合宿を行い課題克服のトレーニングを積み重ねていきます。今後、活動のアナウンス力を高め、日本全国で世界基準の取り組みが共有できるようなシステムが構築できたらと願っています。

また、U16日韓交流事業は、将来のナショナル選手への登竜門として、これまでも毎年積極的に活動を行ってきました。現在、多くのU16経験選手が各カテゴリーにて活躍しています。それは、所属チームの方をはじめ、沢山の関係者やファンの皆様の協力や応援のおかげです。日本全体での高まりを感じております。今年度の親善試合は残念ながら負けてしまいましたが、代表としての誇り高さ活動が継続できるよう、強く愛される選手たちを今後の合宿でも育成していきたいと思っております。

さらに、ハンドボールというスポーツを通して、各国の文化を学び合い理解し尊重できるよう人間力を高め、世界平和を願い、一社会人として遅く成長していくことを願っています。

【男子報告】

2017年9月11日(月)～16日(土)

男子訪韓 親善試合 25-27X

2017年10月11日(水)～16日(月)

男子受入 親善試合 20-21X

U16男子監督 小波津 周史

初めに、9月11日～16日（訪韓）10月11日～16日（受け入れ）の交流事業を行うにあたってご尽力いただいた、日本ハンドボール協会・沖縄県ハンドボール協会・選手所属監督の皆様には感謝申し上げます。

今回も「韓国に勝つ」という目標を掲げ、3回強化合宿を実施し臨んだ日韓交流戦。初めに、韓国チームとの対戦するイメージを学ばせるため、去年のU16男子の日本対韓国戦で日本が勝ったゲーム映像を見る事から始めました。そこで、韓国チームの戦術を確認しました。今年も去年と同じヘッドコーチだと報告があり、チーム戦術も去年と似たチームだと予想し対韓国戦をどう戦っていくかをスタッフで確認し選手に伝えトレーニングに臨みました。日本の戦術としては、DFは去年同様、韓国の得意とする個人技（フェイント）やポストプレーを防ぐために、クロスアタックを取り入れた予測的・機動的・攻撃的6-0。OFは、きっかけから相手DFを広げそのスペースに強い縦の1:1を仕掛けポストの動きを絡め、プレーを継続しノーマークを作る戦術を、短い合宿日数でしたが徹底的にトレーニングし韓国戦（訪韓）に臨みました。

訪韓では25対27と敗退してしまいました。OF・DFとも戦術的には良かったのですが、課題として、DFで韓国の1:1に対しStrong Side（利き手側）を強く守ることが出来ず突破され得点されてしまいました。OFは、韓国のフットワークを行かしたDFを強くスペースを攻めることができ得点を重ねることができました。チームとして次の合宿では、1:1の守り方を確認し強化していくことを課題として帰国しました。

受入では、トレーニングの前に前の試合の映像を見て韓国で課題だったDFの確認をし、主にDFトレーニング（Strong Side（利き手側））を中心にトレーニングを行いました。また、セットOFでの得点を挙

げるため OF のキッカケ→継続までの流れを徹底確認しました。

10月14日の日韓交流日本ラウンドでは、開催地沖縄県浦添市の大応援に背中を押されながら、韓国ラウンドでのリベンジを誓いゲームがスタートしました。結果は、後半ラスト11mからのノータイムフリースローを決められ、20対21で敗れてしまいました。悔しい幕切れとなり、日本選手のほとんどが涙を流しました。選手は、この日韓交流を通して海外を相手に戦える大きな自信を手に入れたと思います。このゲームが、未来の日韓両国のハンドボールをさらに発展させると感じた交流戦でした。

最後に、今回の日韓交流事業を通してU16のカテゴリーは、国際大会はないですが、ナショナル選手に入るための登竜門と考え、「人間力向上」をテーマに掲げ取り組みました。選手一人一人が意識し主体的に行動することが、このカテゴリーで一番大切なことだと考えます。これからも、今回のU16の選手が次のカテゴリーで活躍しオリンピックでも活躍できる選手になることを願い報告を終了させていただきます。

U16男子キャプテン 伊禮 雅太

U16日本代表の活動を終えて、とてもたくさんの事を学べた合宿でした。初めてのアンダーカテゴリー

としての活動で、他国と交流し試合が出来るということで、とてもワクワクしていましたし、その反面緊張もしていました。

訪韓の時には、27対25で悔しい思いをしました。韓国人のフェイントのキレやフットワークがとても凄く、驚くことが多かったです。そして、国も違えばご飯も違うし、体育館の利用方法も日本とは全く違うので、そのような環境でどのように勝ち抜いていけるかが重要ということがわかり、とても良い勉強になりました。

受け入れの時には、21対20でノータイムフリースローを決められてしまい、とても悔しく応援してくださいました人にはとても申し訳ない結果でした。ですが、とても内容の濃い合宿でした。栄養士の先生が来てくださり、僕たちに足りていない栄養を一人ひとりに教えてくれたり、現在、日本代表で活躍している銘苅淳選手に指導してもらったり、日本代表として戦う意味を改めて理解することもできました。また、訪韓時よりもコミュニケーションが取れていて、よりみんなと団結して試合に臨むことが出来たと思います。

U16日本代表に選ばれたことで満足せずに次のカテゴリーでも選出されるように今後も頑張っていきたいと思います。そして、オリンピックで金メダルを取ることを目標にこれから努力していきます。ありがとうございました。これからもよろしくお願いします。



確かな“技術力”。
これまでも、これからも。

100

株式会社ミカサは、2017年5月1日
おかげさまで創業100周年を迎えました。

<http://www.mikasasports.co.jp>



これまで支えてくださったすべての皆様に心より感謝申し上げます。

日本代表男子U16チーム 第21回日韓スポーツ交流事業(受入)メンバーリスト

役職	氏名	所属	
強化本部長	田口 隆	公益財団法人日本ハンドボール協会	
指導普及本部長	三輪一義	公益財団法人日本ハンドボール協会	琉球大学
監督	小波津周史	公益財団法人日本ハンドボール協会	浦宗市立浦添中学校
コーチ	大原雅広	公益財団法人日本ハンドボール協会	つくば市立光輝学園手代木中学校
トレーナー	渡辺哲史	公益財団法人日本ハンドボール協会	Up Life 治療院
総務	河上千秋	公益財団法人日本ハンドボール協会	JOC 専任コーチングディレクター

背番号	名前	所属	出身校・出身チーム
1	紅出勘太郎	氷見市立北部中学校	比美乃江ハンドボールクラブ
3	森本大貴	愛知高等学校	名古屋市立滝ノ水中学校
4	三谷光翼	愛知高等学校	名古屋市立滝ノ水中学校
5	谷口 尊	北陸高等学校	福井市立安居中学校
6	豊増明志	浦和学院高等学校	川口市立戸塚西中学校
7	伊禮雅太	興南高等学校	浦添市立神森中学校
9	大川 陸	県立小林秀峰高等学校	都城市立小松原中学校
10	松本大昌	県立岩国工業高等学校	岩国市立岩国中学校
11	後藤駿介	県立藤代紫水高等学校	常総市立水海道西中学校
12	野上遼真	大分高等学校	大分中学校
13	松本統生	県立小松工業高校	小松市立板津中学校
14	木村翔太	大阪体育大学浪商高校	大阪体育大学浪商中学校
15	藤坂尚輝	明倫中学校	北輪電力 Jr. ブルーロケッツ
16	西原雄聖	興南高等学校	浦添市立神森中学校
17	岩本浩希	東大寺学園高等学校	東大寺学園中学校
18	池原大貴	桃山学院高等学校	大阪市立住吉第一中学校

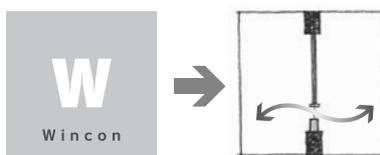


『呼吸する建築』

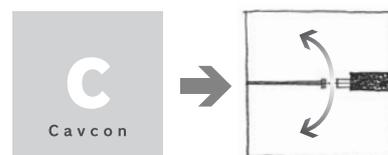
『ナビ ウィンドウ 21』 NAV WINDOW 21



Swindow ● スウィンドウ



Wincon ● ウィンコン



Cavcon ● キャブコン

三協立山株式会社 三協アルミ社 営業開発部 〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1 住友中野板上ビル18F TEL(03)5348-0360 <http://www.nav-window21.net/>

【女子報告】

2017年9月4日(月)～9日(土)

女子訪韓 親善試合 14-25X

2017年10月18日(水)～23日(月)

女子受入 親善試合 19-26X

U16女子監督 麻生 薫

日韓交流は今年で第21回目を迎えました。ここ数年日本のジュニア世代の力が大きく向上しており、韓国チームと同等のゲームができるようになっていきます。特に昨年度、韓国ラウンド引き分け、日本ラウンド勝利というU16女子では初となる「負けない」日韓交流となり、U16の活動を実施するにあたり、時間と労力を惜しみなく費やしていただいている方々のお力があってこそだと大変感謝しています。

現在日本は、ジュニア期選手育成において大きな転換期を迎えています。今年度のU16メンバーは、ブロックNTS、センターNTS、アカデミーを通して招集された選手から選考しており、またNTSで提案された指導内容を日韓交流戦まで一貫して実践してきました。NTSは、A代表をはじめとする各カテゴリーの反省から「縦の2対2」や「強いコンタクト」、体幹力や姿勢などを含めた「基礎的能力」など、これらを日本の課題であると強調しています。特に「強いコンタクト」については、U16強化合宿でも継続的に指導をしてきました。

私たちが日本国内でイメージする「強いコンタクト」は韓国には通用しません。まず日本の選手は相手に触ることができません。そしてコンタクトをしても姿勢が崩れ倒れてしまいます。ましてや今回韓国選手の中に180cmの大型ポストがありました。バックプレーヤーのスピードと大型ポストのパワーを抑えるのは非常に困難でした。韓国ラウンドではDF時の接触に対する意識の甘さが敗戦に繋がりました。この課題は、男女問わず日本全体で改善していく必要があると感じています。

日本ラウンド前の強化合宿では、韓国ラウンドでの反省を生かし、NTSから継続的に実践している「BASIC7」や「コンタクト・トレーニング」をさらに強化し、スタッフ・選手を含めチームの意識を変えていく努力をしました。韓国戦を経験した選手たちの

意識は一気に高まり、日韓交流戦日本ラウンドでは、トレーニングの成果は大いにあったと感じています。

選手に直接関わってくださっている指導者の皆様のお力はとても大きいです。今後、選手に関わってくださっている指導者の皆さんやハンドボールに関わる全ての方々のお力を集結して、日本の選手が世界レベルに向上していけることをとても期待しています。関係者の皆様、御支援・御協力ありがとうございました。

U16女子キャプテン 柿添 まどか

日の丸を背負って戦う事、勝つ事の難しさを交流戦だけでなく、合宿中にも学ぶことが沢山ありました。チーム作りからスタートした私達は、行動や言動の一つ一つがバラバラで、韓国代表に勝ちたいという高い意識をもっている選手は少なく感じました。

実際その意識のまま臨んだ試合では、韓国の独特なスピードと強さに日本代表は受け身になってしまい、圧倒されたまま試合が終わってしまいました。試合後、直ぐにミーティングをした私達は「1ヶ月後、また試合ができるならばもう一度戦い、韓国を倒したい」と、やっと全員の気持ちが同じ方向に向きました。

その後の合宿では、特にDFを徹底して守れるように基本的な1対1や2対2、4対4を何回も練習しました。また、一人一人が意識を高めお互いに指摘し合えるようになり、チーム全体的に練習の質が上がりました。そのおかげで受入では、訪韓の時より大型ポストを守れるようになったり、韓国に気持ちよくプレーさせないようになりました。試合には全員出場することができ、途中から出た選手も下を向くことなく果敢に戦うことができました。

負けという結果で終わってしまいましたが、訪韓からの一人一人が成長できた交流戦だったと思います。私は相手がいる時だけ戦いではなく、勝つためにどれくらい本気で立ち向かいどれだけ努力したか、そういった自分との戦いが1番大事なのだと気づかされました。このような経験ができたのは数えきれないほど多くの方々のおかげがあってこそだと思います。これからもハンドボールを通して成長していきたいです。U16は日本代表の第一歩です。まずは自チームに戻って自分の課題と向き合い、世界と戦えるように常にチャレンジし続け、日本のハンドボールを強くしていきたいです。

日本代表女子U16チーム 第21回日韓スポーツ交流事業(受入)メンバーリスト

役職	氏名	所属	
強化本部長	田口 隆	公益財団法人日本ハンドボール協会	
監督	麻生 薫	公益財団法人日本ハンドボール協会	倉敷市立東中学校
コーチ	藤高 学	公益財団法人日本ハンドボール協会	下松市立下松中学校
GK コーチ	小松理子	公益財団法人日本ハンドボール協会	甲州市立城南中学校
トレーナー	竹内いずみ	公益財団法人日本ハンドボール協会	かもめクリニック
総務	原田 悟	公益財団法人日本ハンドボール協会	

背番号	名前	所属	出身校・出身チーム
1	上嶋亜樹	小松市立高等学校	小松市立芦城中学校
3	小林 愛	小松市立高等学校	小松市立芦城中学校
4	藤原ひなた	花巻市立花巻中学校	花巻クラブジュニア
5	長谷川真子	明光学園高等学校	福岡市立松崎中学校
6	升澤結菜	福井市光陽中学校	福井市立湊小学校
9	高橋 唯	大分高等学校	大分市立滝尾中学校
10	掛本梓乃	山梨県立日川高等学校	甲州市立塩山中学校
11	辻 静羽	石川県立小松商業高等学校	小松市立芦城中学校
12	川村夏希	佼成女子学園高等学校	大阪ジュニアクラブ
13	藤井咲良	小松市立高等学校	小松市立芦城中学校
14	松浦未南	山口県立華陵高等学校	周南市立住吉中学校
15	村上 楓	明光学園高等学校	玉名市立玉名中学校
16	柿添まどか	明光学園高等学校	玉名市立玉名中学校
17	石川 空	大分市立原川中学校	日岡ハンドボールスクールスポーツ少年団
18	小林海由梨	埼玉栄高等学校	川口市立戸塚西中学校
19	竹内琉奈	福井県立福井商業高等学校	福井市明倫中学校



新刊

ハンドボールスキルアップシリーズ 目からウロコのDF戦術

スポーツイベント・ハンドボール編集部 編著
B5判 144ページ 1,800円+税 発行元 グローバル教育出版

ハンドボールに欠かすことのできないDF。そのDFについて、1対1の守り方から始まり、チームとしての守り方まで、日本を代表する指導者が解説しています。また、DFシステムについても詳細に紹介。「DF」ならこの1冊にお任せください。

既刊



目からウロコの個人技術
1,800円+税

株式会社スポーツイベント 〒101-0047 東京都千代田区内神田2-4-2 TEL:03-3253-5941 FAX:03-3253-5948

男子 日本 20(9-9、11-12)21 韓国

日本・沖縄県浦添市で日韓交流日本ラウンドのゲームが始まる。日本チームは、沖縄の大応援に背中を押されながら、韓国ラウンドでのリベンジを誓う。序盤は互いにミスが重なり、ロースコアの展開になる。日本は松本大が速攻や巧みなフェイントから連続得点を決める。対する韓国もBPのカットイン、ミドルで応戦する。日本のアグレッシブなDFに韓国のOFは戸惑い、ミスが続いた。そこで差を広げたい日本だが、相手GKにノーマークシュートを何度も阻まれ、点差は広げられず、9対9の同点で前半を終える。

後半は、開始早々に森本の強力なブラインドシュートでリードするが、4分から韓国BPの強い個人技による4連取で逆転される。しかし日本も三谷、木村のサイドや、藤坂、豊増のカットインで必死に食らいつく。試合中盤から終盤にかけて、体力的に苦しくなってきた韓国は、ペースを落とし、緩急を使ったセットOFに狙いを変え、リードを守る。日本は、勝負所で守護神西原を軸とするDFが機能し、相手のミスから速攻のチャンスを作るが、つなぎのパスミスが目立ち、相手にボールを与えてしまう。ラスト10秒でキャプテン伊禮の渾身のミドルで同点とするが、最後に11mからのノータイムフリースローを決められ20対21で敗れた。悔しい幕切れとなり、涙を流した日本チームだが、選手達はこの日韓交流を通して海外で戦える大きな自信を手に入れた。この試合が、未来の日韓両国のハンドボールをさらに発展させると信じている。


女子 日本 19(6-12、13-14)26 韓国

10月21日佐賀県トヨタ紡織体育館で開催された日韓交流親善試合は、日本チーム長谷川の得点でスタートした。その後、韓国のカットインで応戦されたが、日本の粘るDFで10分過ぎまで5対5のロースコアな展開を見せた。その後、石川、松浦、高橋など果敢な攻撃を見せるが韓国の牽制に苦しみ得点が滞った。DFにも疲れが見え、韓国の大型PV(180cm)とPVを絡めたバックプレーヤーのカットインやサイドシュートなどの連続得点を許してしまった。

後半では、小柄ながら機動力や展開力のある掛本・村上・藤井をバックプレーヤーに起用し、攻撃の打開を図った。村上・掛本・藤井などの小柄ながらスピード活かした選手の起用で大きく韓国のDFは崩れ始め、得点チャンスにつなげることができた。またDFも大型PVと早いカットインを攻略することができ始め、高橋や村上の速攻も決まった。19対26で敗戦したもの、選手たちの成長ぶりは大きく次に繋がる交流戦となった。

今回はGK含め、大型選手、左腕、小柄ながらスピードのある選手と特徴を踏まえて選考したが、やはり大型選手、左腕の育成は重要課題である。GKも含め大型でありながら機動力の習得は必要で、即身につくものではないが、将来性を考慮しコツコツと育成していく必要があると感じた。



国際ハンドボール連盟 公式試合球

IHF OFFICIAL GAME BALL



[3号球] 品番 H3X5001-BW ¥8,400(本体価格)+消費税
[2号球] 品番 H2X5001-BW ¥8,200(本体価格)+消費税
国際公認球 検定球 人工皮革 縫い ブルー×ホワイト ラテックスチューブ

asics



DASH MORE FAST

ダッシュ性能を追求したスピードモデル。

GEL-FASTBALL 2 **NEW**

THH545

本体価格 ¥11,800+税

サイズ 23.0~29.0・30.0cm



0190
ホワイト×ブラック



4501
アシックスブルー×ホワイト

 アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。

本体価格は消費税抜きのメーカー希望小売価格です。 ■商品についてのお問い合わせ先：アシックスジャパン株式会社お客様相談室 0120-068-806 ■当社ホームページ asics.com からもお問い合わせをいただけます。

第2回

「部活動は道德教育の場である！」と考える、あなたへ

神谷 拓 宮城教育大学准教授

1. はじめに

今月は、「部活動は道德教育の場である！」と考える人たちに向けて、お話ししたいと思います。私が接してきた部活動指導者の中には、「学校の部活動は勝敗が目的では無い」と述べる方が多くいました。そこで勝敗以外の目的を聞くと、多くの場合、「道德教育の場だ」という答えが返ってきます。ここで述べられている「道德教育」には、心・精神力を高めたり、上下関係や礼儀などを理解させたりすることも含まれています。実際に、朝日新聞と日本高等学校野球連盟が実施した調査¹⁾において「監督の一番の悩み」を尋ねたところ、「技術面での指導」が20%、そして「精神・心理面での指導」は約2倍の39%という結果が残されています。この調査からも、技術以上に「心・精神の指導」といった、道德教育が重視されている実態が理解できます。

それは、当然のことなのかもしれません。なぜなら、これまでの教育制度や教育政策において、部活動における道德教育を推奨してきた歴史があるからです。以下では、そのことから触れていきましょう。

2. 部活動が「道德教育の場」として成立してきた理由

部活動において道德教育を進める方針は、まず、進学の際に必要な内申書・調査書に見ることができます。そこでは、学校生活全体にわたって認められる、生徒の行動および性格について評価する仕組みがつけられてきました。学校生活の範疇に課外の部活動を含むのか否かは、各学校の判断によって分かれますが、少なくとも内申書・調査書の原簿となる指導要録では、1961年からそのような評価方法が示されてきたのです。高等学校では1993年の要録で廃止されたものの、中学校では今日まで継承されています²⁾。

実際に学習指導要領においても、道德教育の場として部活動を位置づける方針が示されてきました。規律ある労働者を求める経済界からの要請もあり、1970年代に道德教育の場として部活動は注目され、1977～8年改訂の学習指導要領の方針に組み込まれていきます。部活動の大会も同様でした。当時の政権与党の働きかけもあり、道德教育を進めるために運動部活動の大会が注目され、1979年に新たな基準が設けられていきます。

校内暴力が深刻化した1980年代以降になると、その方針がさらに強調され、子どもの態度から内面や精神を判定・判断するような、部活動の実践が見られるようになりました。そこでは、子どもを従順な態度にするべく、規則や罰則で日頃の行動を管理することが重視されていたため、当時の実践は管理主義的な部活動指導とも言われます。ちなみに、今年に入って改訂された中学校の学習指導要領でも、部活動が「責任感、連帯感の涵養」の場として位置づけられており、依然として部活動における道德教育が重視されています。

このように教育政策や制度の「お墨付き」を得て、部活動は「道德教育の場」として機能してきたのです。

3. 「部活動は道德教育の場である！」の限界

しかし、この立場の主張には限界があります。まず、道德教育は、部活動固有の教育（内容）ではありません。人は、様々な場面で、心・精神が磨かれます。大学浪人時代の経験に求める人もいるでしょうし、日々の授業の予習・復習を全力で取り組む過程において、心・精神が鍛えられることもあるでしょう。あるいは、同じスポーツに取り組む地域スポーツクラブでも、責任感や連帯感を育むことはできそうです。このように考えると、道德教育は部活動の専売特許にはなりえず、同時に、学校で部活動を実施する根拠や、教員が関わる理由にもなりません。

さらに言えば、道德教育や「心・精神力を高める」といった方針は、体罰・暴力を正当化する理由・言い訳として使われてきた問題もあります。例えば、一人の尊い命が奪われた、桜宮高校・バスケットボール部の事件においても、その傾向が見られました。この事件を起こした顧問は、後に顛末書の中で「鼓舞させる場面や、意欲、集中力が無い場面で手をあげる事があった」と述べ、暴力をふるった理由として心・精神を持ち出しています³⁾。皆さんの身近においても、同様のことが起こっています。高校のハンドボール部の監督が、大会の成績が2位だったことを受けて、賞状を破り捨てたと報道されています。顧問は、この行為に及んだ理由を「気合いを入れるためだった…」と述べています⁴⁾。ここでも、賞状を破り捨てるという理不尽な行為を正当化する理由として、「気合い」という心・精神が利用されているのです。

4. 道德教育と自治集団活動の接点

子どもが望むような行動や態度を取らなかったときに、心・精神、道德を理由にして、体罰・暴力・暴言などの理不尽な指導を行い、従順な行動や態度を取らせていくという方法は、戦前の軍国主義教育から見られるものです。そのような深い「根」を理解し、「部活動は道德教育の場である」という主張の限界を知り、これから、どのようにして教育との接点を見出していくのかを考えるのが「運動部活動の教育学」です。前回においても触れたように、学校の教員は、子どもを課題に向かわせ、解決させる専門家ですから、今回も「自治」という観点と、道德教育の関係を考えていきましょう。どのように人格が形成されるのかには諸説がありますが、その中には、自治集団活動を基盤にした、「働きかけるものが働きかけられる」と考える人格形成論があります⁵⁾。例えば、先ほどの事例のように「気合いだ！」「精神力だ！」と、指導者が声高に「働きかける」状況において、気合いや精神力の重要性を学んでいる（「働きかけられる」）のは指導者自身です。子どもに、それらの重要性を理解させたいのであれば、子ども自身が気合いや精神力が必要される状況、理由、成果などを理解し、自ら「働きかける」場面をつくる必要があります。そして、辛いことがあっても、子ども自身が「働きかけたい」と思うように、スポーツや競技を「大好き」な状態にさせておく必要があるでしょう。このような「働きかける者が働きかけられる」というプロセスが、これまでの「部活動は道德教育の場である」という主張に欠けていたのではないのでしょうか。その問題を抱えたまま、「部活動は道德教育の場である」という従来の主張や実践を繰り返すのか、教員の専門性をふまえて「生徒が自分たちで強くなっていくのが部活動である」と主張し、子どもの自治集団活動を基盤にした道德教育を求めるのか、今、その分岐点に指導者の皆さんは置かれています。「運動部活動の教育学」の扉を開き、新たな一步を踏み出してみませんか？

【注】

- 1) 朝日新聞朝刊 2013年6月21日。
- 2) 部活動の指導要録上の評価については、拙稿「運動部活動の教育制度史」（友添秀則編著『運動部活動の理論と実践』大修館書店、2016年、69-82頁）を参照。
- 3) 朝日新聞朝刊 2013年5月23日（夕刊）。
- 4) 朝日新聞朝刊 2017年10月20日（夕刊）。
- 5) 城丸章夫「教科外活動の教育的位置と展望」（『講座 日本の教育6 教育の過程と方法』新日本出版社、1976年、337-382頁）。

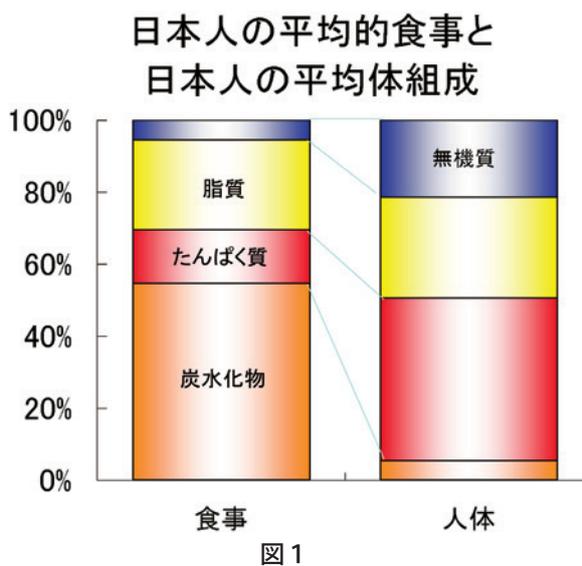
自分のからだを、自分でつくる！ 食事量の調整方法を習得しよう。

筑波大学体育系准教授 麻見 直美 (管理栄養士)

運動栄養学の専門家、筑波大学体育系運動栄養学 (管理栄養士) の麻見直美先生による、シリーズ「食育を考える：ジュニア期の食事の在り方」の第二回目となる。

『You are what you eat.』この1フレーズをしっかりと心に刻んでください。直訳すると、『自分で書いてみましょう！』です。そうですね。この文の意味、この文から理解して欲しいことは、『あなたは (あなたの からだもここも)、あなたが食べたものから出来ている。だから、生きるために、命をつなぐために、消費、消耗されて失われていく身体の成分などを、同じもの (成分) から出来ている食べ物を食べることで補う必要がある。身体が必要としている成分を、食べることで補わないと、生きていくことが出来ない』ということです。図1に示す通り、含まれる量の割合は異なりますが、ヒトの身体を構成している成分と、我々の食事に含まれている成分は同じです。ここで言う“身体が必要としている成分”のことを“栄養素”といいます。食品は、様々な種類がありますが、食品ごとに含まれている栄養素の種類や量が異なります。そのため、身体が必要としている様々な栄養素を適切に摂取するために、様々な種類の食品を上手に組み合わせて食べるのが大切になります。自分のからだをどうつくりたいか？ つくりたい自分のからだをイメージして、そのために何をどうやってどのくらい食べたらよいか、それぞれのヒトの創意工夫が必要です。

少し前の話になりますが、ハンドボール全日本チームの初の外国人監督だったオレ・オルソン氏 (スウェーデン) は、他国の選手に比べて体格の小さな日本選手に対して、まず身体を大きくする取り組みを行いました。当初の全日本男子ハンドボールチームの平均体重は 82kg だったのですが、チームの平均体重を 88kg まで高めることを目標としました。そのためにチームは 1日6食制で 6000kcal の食事をすることに努めました。「食べることも練習のうち！」と、ハンドボール選手としての目標の身体をつくるための1つの取り組みに食事を位置づけたのです。あなたは、ハンドボール選手として、どんな身体をつくりたいですか？ 成長期の、勉強途中のあなたですから、どんな身体をつくりたいかは勝手に自分で決めずに、周りの大人 (チームの監督？ コーチ？ や、学校の保健の先生？ 家庭科の先生？) と相談して、成長期のあなたのハンドボール選手としてのからだづくりの目標を立てましょう。ところで、身長が急に伸びたり、体重がグンと増えたりする時期は、ヒトによって違います。女子の方が、平均的にはその時期が男子より早いです。女子の場合、小学5年生くらい～中学3年



生くらのどこかであることが多いので、その時期を既に終えた人もいるかもしれませんが。身長が伸びている時は体重が増えるのもあたりまえに考えることができますと思いますが、身長の伸びが少なくなると体重の増え方が気になる人もいるでしょう。けれど、身長の伸び方が少しづつになっても、まだあなたは成長期の段階ですから、体重が増えるのは当然です。そしてハンドボール選手としての適切な体格を意識するなら筋量を増やす必要もあるので、そうしたら筋肉は見た目の大きさが同じ脂肪より重たいので、体重が重くなるのも当然です。成長期にあることを意識して、どんな身体になりたいか考えてみてください。男子の場合は、中学1年生頃から大きな身長の伸びの時期が訪れる人が多いでしょう。高校生になってからの人もいます。自分は成長のどのステージにいるかを意識しながら、どんな身体になりたいか考えてみましょう。必ず成長のスパートの時期はやってきます。そのときに備えて、しっかり食べることができる準備をしておきましょう。勿論、からだづくりは“食事”だけで出来ることではありません。“練習／トレーニング”と“食事”と“休養”が上手く連動していかなくてはなりません。だからこそ、あなたの“練習／トレーニング”を理解してくれる大人に、どんな身体を目標にしたらよいか相談し、あなたのハンドボール選手としての身体づくりの目標をたてましょう。「どんな選手になりたいか」をまず、書いてみましょう。そのための食事の工夫、あなたは何を実践しますか？

ところで、あなたの最近の食事状況はどうですか？「主食」「主菜」「副菜」「牛乳・乳製品」「果物」が毎回の食事に揃うことを意識して食べることが出来ていますか？パーフェクト栄養型の食事を実践していますか？そのために、周りの大人達に協力依頼をしましたか？あなたは、まだ自分で食材を買って料理して食べる立場では無く（出来ることからやってみて欲しいけれど！やれるヒトやりたいヒトは作ることにチャレンジを初めてくださいね）、周りの大人達の協力があって、食事をしていると思いますから、もしも食べられていない料理区分があったら、『**の食事のバランスを調べてみたら、◎◎が食べられてなくて、△△が不足している可能性がある」とわかったから、今度から◎◎も食事に加えて欲しいんだ。お願いします！』みたいに、食事を準備してくれる大人にお願いしてみてください。『スポーツも頑張れる食事にするには、パーフェクト栄養型っていう、こんな食事が必要なんだって、、、』と理由も説明できるといいですね。是非チャレンジしてください。

理想の選手になるために、どんな身体づくりをしたらよいか？そのために食事の何から見直したらよいか？ということで、まずは直ぐに実践できることの1つとして、食事バランスを『パーフェクト栄養型』を目指していこう!!ということをやりました。加えて、今回は、「自分で自分の食事の量をコントロールする」に挑戦です。『パフォーマンス向上のための、アスリートのからだづくりのための』食事の条件は2つあります。“適切な量の食事”と“適切な質の食事”です。“適切な質の食事”の実践が『パーフェクト栄養型』の食事の実践です。では、“適切な量の食事”はどうやって管理するのでしょうか？

方法は意外と簡単、定期的に体重を計ります。体重は、「食事からとるエネルギー量（摂取エネルギー

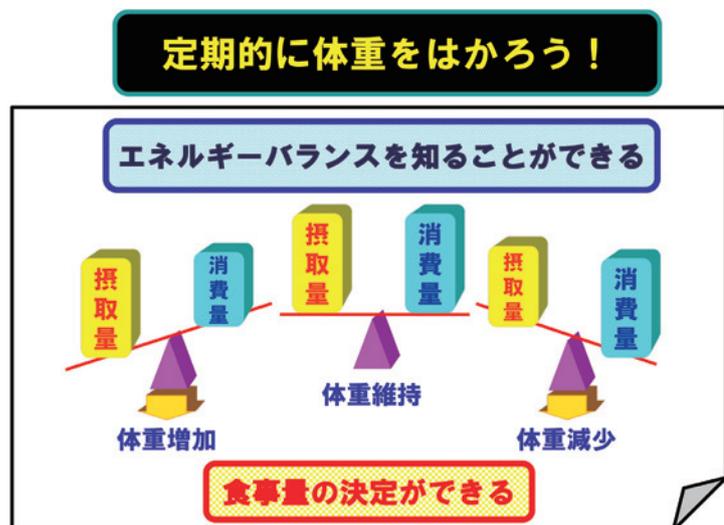


図2

量)」と「練習や試合も含めた、睡眠も含めた生活全般で（毎日を営むことで）消費するエネルギー量」のバランスによって決まります。図2にあるように、摂取量の方が消費量より多いと体重が増えます。逆に摂取量より消費量が多いと体重は減ります。摂取量と消費量が同じ場合は体重が維持されます。ただし、あなたは成長期にあるので、徐々に体重が増えるのは当然のことです。その増え方が適切かを、どんな身体をつくりたいかを確認しながらチェックしましょう。あなたは成長を遂げた（成長が止まった）大人より、体重を維持するためにも、多くのエネルギーの摂取が必要になります。それは、成長期のあなたの場合、消費量の内訳が生きるために最低限必要と考えられる基礎代謝（心臓が動いたり、体温が維持されたりなどの生きている限り必然的に消費されるエネルギー量）と運動などを含む身体活動に伴って消費される活動代謝量に加え、成長のために使われるエネルギー量も含むため

です（図3）。あなたは成長期にあるので元来体重が減ることはありません。もしも体重が減ることがあるとすれば、練習やトレーニングが厳しくて、その結果食欲が低下したりして、十分に食事が摂れず、消費エネルギーが摂取エネルギー量より多くなっていることを意味しています。そんな時は食事量を増やして、足りないエネルギー量を補う必要があります。エネルギーバランスが「+」でないと、体重は増えません。つまり、筋量も増えません。ちゃんと体重が増えている

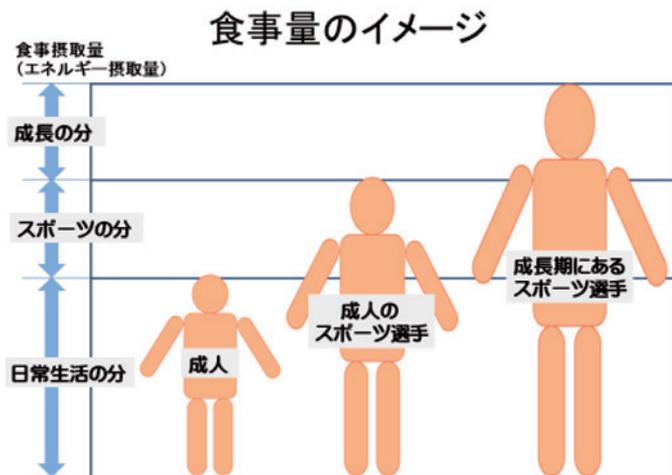


図3

か、定期的に確認してください。もしも体重が減ったり、増え方が小さかったら、食事の量を（主食を中心に量や回数を）増やしましょう。さあ、この1ヶ月の体重の変化はどうでしたか？ 少しずつ増えていますか？ 自分の体重の変化を確認しながら、食事の量を少しずつ増やしたり、減らしたりしてください。練習やトレーニングの量が増えたら「食事もトレーニング！の内」と考えて頑張って食べる量（摂取するエネルギー量）を増やす、試合が近づいて運動量が減ってきたな・・・と思ったら、食事の量（摂取するエネルギー量）を減らしてみる。さあ、やってみましょう。練習日誌の隅っこに、食事の内容と大まかな量をメモしておきましょう。勿論、測った体重も一緒に！ そうすると、あなたの、食事量と体重の関係がわかってきますよ。やり方も身につきます。

ところで、1回目の最後で「同じタイミングで体重を計ってください。」と書きました。覚えていますか？ 同じタイミングがよい理由があります。体重はコップ1杯の水で増減するからです。直前の飲食や発汗の影響などを受けるので、あなたの生活の中で一番同じ条件が作れそうなタイミングで体重を計ってください。例えば、月曜日の朝起きてトイレに行った後とか、土曜日の寝る前とか、あなたの都合に合わせてよいタイミングを見つけてください。チームみんなで*曜日の練習の後などと決めて、チームのみんなでやってもいいですね。食事の量が適切かどうかを判断するための体重測定は、1週間に1回くらいの間隔がよいでしょう。勿論、毎日体重を計る習慣を持つことは選手としてよいことです。けれども、食事量の判断に使う体重は1週間に1回くらい測定間隔で大丈夫です。毎日の体重の変動はコンディショニングに使いましょう。（後日、食事量の判定のための体重測定以外の体重活用法のお話をします）

さあ、第1回のパーフェクト栄養型の食事を意識しながら、体重を計りながら食事の量（主に主食がやりやすい）を増やしたり減らしたりして、自分が目指すからだづくりを行いましょう！

スコアールーム

第72回国民体育大会

開催期日：2017年10月5日(木)～9日(月)

会場：愛媛県西条市・西条市総合体育館ほか

【成年男子】

▼1回戦

東京 23 (9-10、14-7) 17 岡山
神奈川 31 (13-12、18-17) 29 和歌山
広島 29 (14-7、15-13) 20 沖縄

▼2回戦

愛知 34 (16-13、18-11) 24 東京
兵庫 33 (16-7、17-10) 17 富山
佐賀 42 (22-4、20-10) 14 香川
千葉 29 (12-10、17-14) 24 岩手
宮城 36 (16-5、20-10) 15 神奈川
福井 38 (19-13、19-10) 23 北海道
愛媛 28 (13-12、15-11) 23 岐阜
埼玉 22 (12-9、10-10) 19 広島

▼準々決勝

愛知 37 (17-11、20-13) 24 兵庫
佐賀 29 (14-9、15-10) 19 千葉
宮城 27 (12-11、15-10) 21 福井
埼玉 38 (18-12、20-11) 23 愛媛

▼準決勝

愛知 38 (24-7、14-12) 19 佐賀
埼玉 30 (10-10、20-14) 24 宮城

▼3位決定戦

宮城 29 (16-13、13-14) 27 佐賀

▼決勝

埼玉 34 (11-12、23-12) 24 愛知

【成年女子】

▼1回戦

石川 38 (22-2、16-2) 4 兵庫
三重 30 (13-11、17-8) 19 神奈川
香川 31 (17-11、14-6) 17 福島
鹿児島 37 (20-3、17-9) 12 北海道
広島 28 (15-6、13-9) 15 愛媛
大阪 27 (11-12、16-9) 21 茨城

東京 34 (15-12、19-9) 21 岩手
熊本 29 (15-7、14-10) 17 富山

▼準々決勝

石川 33 (19-10、14-9) 19 三重
鹿児島 22 (6-12、16-9) 21 香川
広島 30 (16-9、14-12) 21 大阪
熊本 32 (14-4、18-8) 12 東京

▼準決勝

石川 31 (20-7、11-12) 19 鹿児島
熊本 24 (13-11、11-9) 20 広島

▼3位決定戦

広島 30 (13-13、17-14) 27 鹿児島

▼決勝

石川 33 (14-8、19-8) 16 熊本

【少年男子】

▼1回戦

神奈川 36 (17-8、19-7) 15 北海道
山口 34 (18-8、16-7) 15 岐阜
香川 32 (14-9、18-7) 16 兵庫
沖縄 27 (13-7、14-11) 18 福島
大分 27 (13-9、14-9) 18 京都
千葉 28 (14-10、14-16) 26 愛媛
茨城 20 (12-5、8-12) 17 愛知
福井 31 (14-12、12-14) 30 岩手
(3-1、2-3)

▼準々決勝

神奈川 28 (15-17、13-10) 27 山口
香川 31 (16-7、15-17) 24 沖縄
千葉 21 (11-11、10-8) 19 大分
福井 27 (15-13、12-13) 26 茨城

▼準決勝

神奈川 25 (10-14、15-9) 23 香川
千葉 38 (10-11、19-18) 37 福井
(2-2、2-2、5 7T 4)

▼3位決定戦

福井 29 (15-10、14-9) 19 香川

▼決勝

神奈川 38 (18-10、20-16) 26 千葉

【少年女子】

▼1回戦

沖縄 25 (14-12、11-11) 23 京都
大阪 26 (12-7、14-10) 17 熊本
千葉 47 (23-10、24-7) 17 北海道

▼2回戦

沖縄 31 (16-12、15-11) 23 東京
岡山 20 (12-9、8-10) 19 愛媛
三重 23 (11-10、12-10) 20 山梨
岩手 26 (14-11、12-10) 21 福岡
大阪 22 (9-11、13-10) 21 茨城
富山 17 (9-11、8-5) 16 香川
愛知 31 (19-3、12-10) 13 宮城
山口 36 (18-8、18-5) 13 千葉

▼準々決勝

沖縄 28 (12-10、16-7) 17 岡山
岩手 22 (13-9、9-8) 17 三重
富山 24 (16-11、8-9) 20 大阪
愛知 22 (12-8、10-9) 17 山口

▼準決勝

沖縄 29 (12-12、12-12) 27 岩手
(3-2、2-1)

愛知 20 (11-12、9-7) 19 富山

▼3位決定戦

富山 42 (23-9、19-20) 29 岩手

▼決勝

愛知 25 (13-9、12-11) 20 沖縄

多彩なフィールドで、フロンティアを目指しています。

大同特殊鋼の素材は、暮らしや産業を支える多彩な製品や部品に使われています。
私たちはこれからも、素材の力で新たな価値創造に貢献していきます。

DAIDO STEEL GROUP
Beyond the Special



外からは見えませんが、骨のある会社です。

大同特殊鋼